

岩手県企業短期経済観測調査結果（2013年3月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の68社
- 回答率95.6%（回答数65社、うち製造業26社、非製造業39社）
- 回答期間 2月25日～3月29日

1. 業況判断指数（D.I.）

業況判断指数（全産業）は、前回調査（12月）に比べ悪化を示したが、引続き、1991年以来の「良い」超幅を維持している（前回17→今回11）。

業種別にやや詳しくみると、製造業では、素材業種が原材料価格の上昇もあって前回予測と様変わりの悪化を示したことから、全体でも「悪い」超幅が拡大した（前回▲12→今回▲15）。

非製造業では、建設関連を中心とした震災特需は続いているものの、資材調達コストの増加や競争激化などから一頃に比べると利鞘が縮小していることを背景に、全体でも「良い」超幅が縮小した（前回35→今回28）。もっとも、引続き、1991年以来の「良い」超幅を維持している。

先行きについては、製造業では足許の円安がなかなか生産数量増に繋がらずにはほぼ現状並みとなる中、非製造業指数の緩やかな低下を映じて、全産業でも「良い」超幅を縮小していくが、引続き、1991年以来の「良い」超幅を維持できる見通し（今回11→6月予測6）。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	11/12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月	6月 (予測)
製造業	▲4	0	0	▲20	▲12	▲15(▲3)	▲16
素材業種	▲14	14	29	15	15	▲14(29)	0
加工業種	0	▲5	▲10	▲31	▲21	▲16(▲16)	▲21
食料品	0	▲40	▲40	▲80	▲20	▲20(▲20)	▲20
電気機械	▲16	▲16	▲16	▲17	▲33	▲17(▲33)	▲50
非製造業	25	29	40	38	35	28(27)	21
建設	33	40	47	50	50	29(50)	29
卸・小売	50	40	40	50	40	22(0)	11
全産業	14	19	25	16	17	11(15)	6

2. 売上高・経常利益（2012年度実績見込み、2013年度見通し）

2012年度の売上高・経常利益は、非製造業を中心に、前年を上回った。

——前回調査に比べると、製造業を中心とした収益改善が目立つ。

2013年度の売上高は、製造業では引続き前年割れとなるが、非製造業で緩やかな増加が続くことから、全産業ではほぼ前年並みとなる見通し。

2013年度の経常利益は、非製造業は小幅減益に転じるものの、製造業における収益改善に支えられ、全産業では増益となる見通し。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%、【 】内は水準指数(2010年度=100)

	2012年度(実績見込)		2013年度(見通し)					
	売上高	経常利益	年度	売上高		年度	経常利益	
				上期	下期		上期	下期
製造業	▲ 5.1	1.2	▲ 3.5	▲ 5.0	▲ 1.9	19.4	8.4倍	▲23.2
	(1.2)	(黒字転化)	【77】	【74】	【81】	【利益】	【73】	【利益】
非製造業	9.1	11.2	3.1	3.6	2.7	▲ 3.8	▲38.4	13.0
	(0.7)	(▲ 2.0)	【117】	【121】	【114】	【223】	【1674】	【179】
全産業	2.4	7.5	0.2	▲ 0.4	0.8	4.4	27.3	▲ 2.6
	(0.9)	(64.2)	【96】	【94】	【98】	【843】	【127】	【利益】

3. 設備投資額（2012年度実績見込み、2013年度計画）

2012年度の設備投資は、震災復旧対応投資を中心に、前年を上回った。

2013年度の設備投資は、製造業・非製造業とも前年を下回る計画となっているが、全産業で見ると震災前（2010年度実績）に比べてなお高い水準にある。

投資内容をみると、いずれも小口案件ながら、生産性向上のための合理化投資（製造業）や建設関連の震災特需への各種対応投資が数多くみられている。

(ソフトウェア投資を除くベース)

—— 同上

	2011年度(実績)	2012年度(実績見込)	2013年度(計画)		
			年度	上期	下期
製造業	32.2	24.2	▲22.8	▲28.3	▲ 9.6
		(▲0.2) 【164】	【127】	【142】	【105】
非製造業	13.4	23.0	▲42.1	▲38.1	▲48.0
		(5.7) 【139】	【81】	【128】	【49】
全産業	26.3	23.9	▲28.2	▲30.7	▲23.1
		(1.4) 【156】	【112】	【139】	【83】

(参考1) 各種判断 D.I 指標の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 D.I. (全産業ベース)

		11/12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月	6月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超」—「供給超」	▲ 8	2	▲ 1	▲ 6	▲11	▲18(▲ 5)	▲15
製商品在庫	「過大超」—「不足超」	▲ 3	▲ 5	▲ 1	8	6	8(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	15	26	15	12	17	33(20)	43
販売価格		2	1	▲ 3	▲ 4	▲ 3	3(0)	3

(2) 生産・営業用設備判断 D.I. (「過剰」—「不足」)

	11/12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月	6月 (予測)
製 造 業	▲15	▲23	▲19	▲ 8	0	7(▲ 3)	0
非 製 造 業	▲15	▲12	▲ 9	▲19	▲10	▲15(▲12)	▲10
全 産 業	▲16	▲16	▲13	▲15	▲ 6	▲ 6(▲ 9)	▲ 6

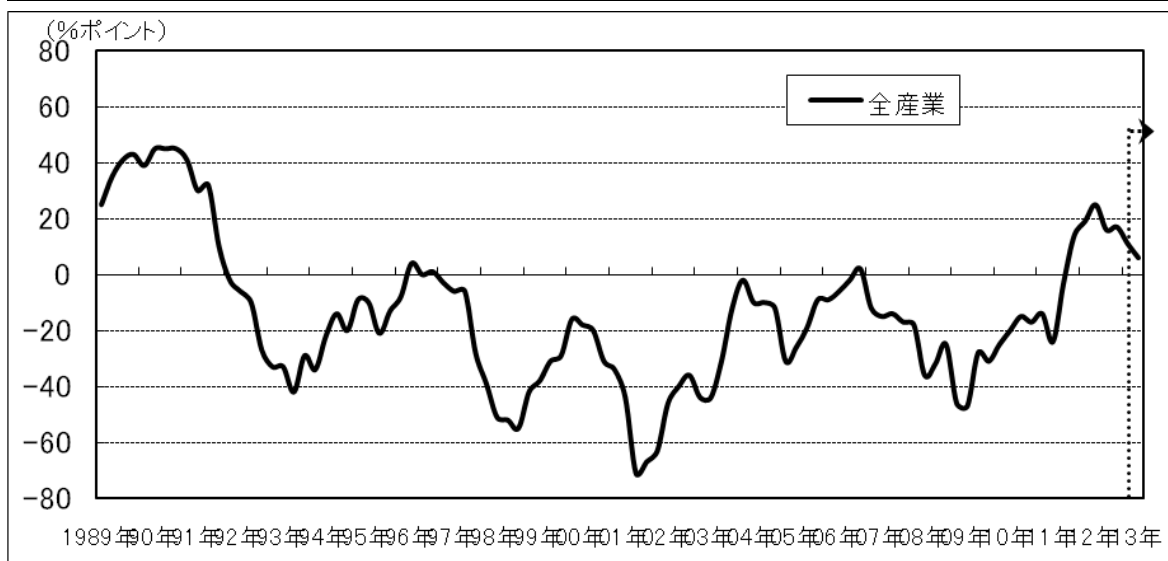
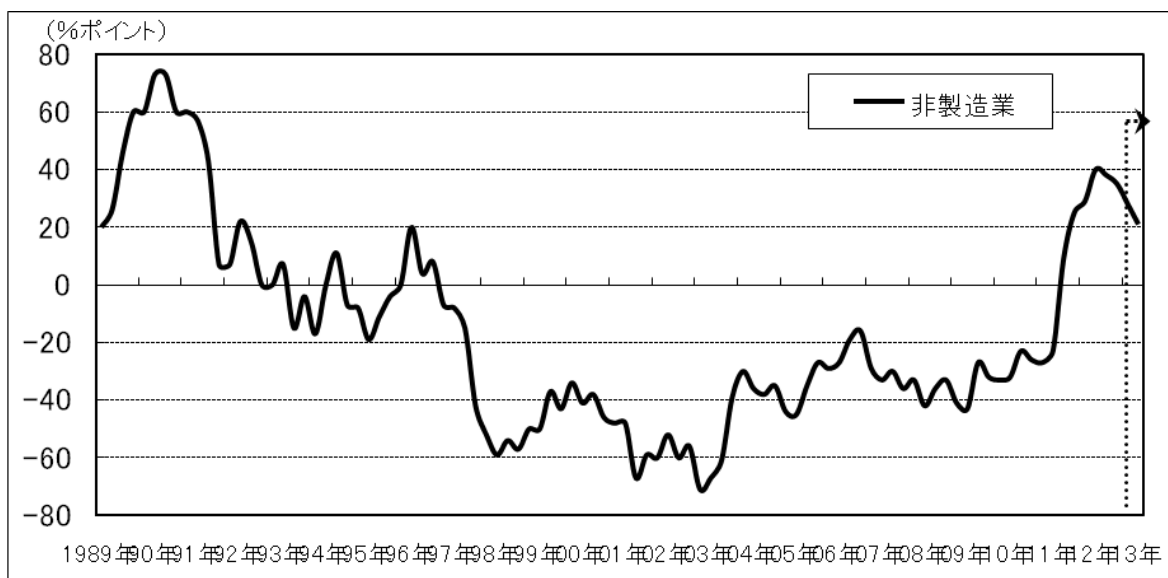
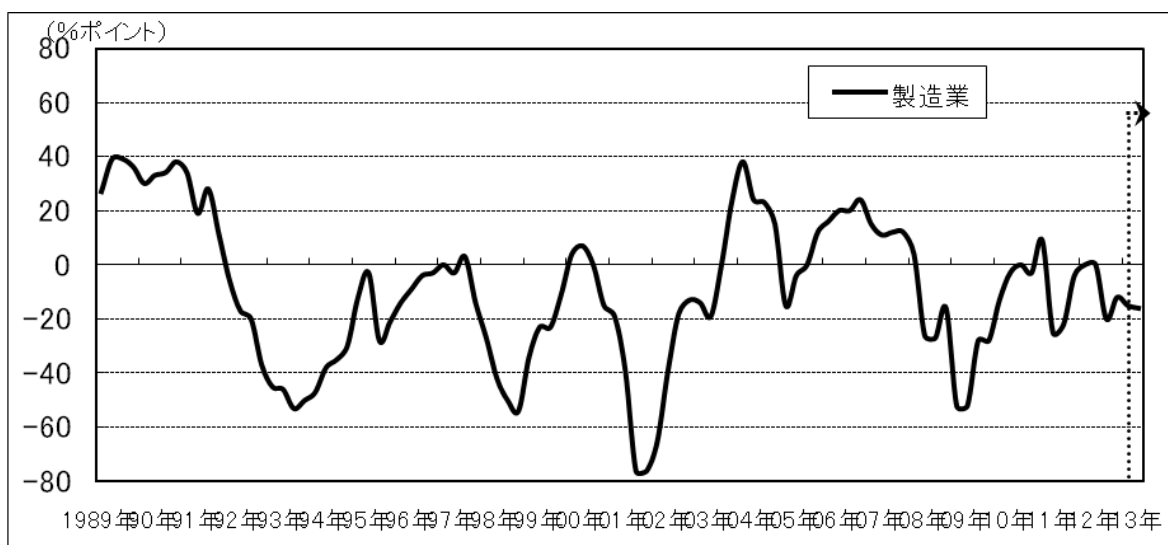
(3) 雇用人員判断 D.I. (「過剰」—「不足」)

	11/12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月	6月 (予測)
製 造 業	11	0	▲ 4	4	3	▲ 4(7)	▲ 3
非 製 造 業	▲ 3	▲ 2	▲ 2	▲10	▲25	▲25(▲25)	▲18
全 産 業	3	▲ 1	▲ 3	▲ 5	▲13	▲17(▲12)	▲12

(4) 企業金融関連判断 D.I. (全産業ベース)

		11/12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月	6月 (予測)
資金繰り	「楽」—「苦しい」	▲ 9	▲ 6	▲ 4	▲ 4	▲ 7	▲ 5(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	▲ 3	5	10	10	9	7(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	0	▲ 8	▲ 4	▲ 7	▲ 5	2(2)	3

(参考2) 岩手県の業況判断D.I.の推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断D. I. の推移

() 内は前回予測

		11/12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月	6月 (予測)
製造業	全国	▲ 5	▲ 7	▲ 8	▲ 8	▲15	▲15 (▲20)	▲10
	東北	1	▲ 3	▲ 4	▲ 8	▲10	▲17 (▲19)	▲11
	岩手	▲ 4	0	0	▲20	▲12	▲15 (▲ 3)	▲16
非製造業	全国	▲ 7	▲ 5	▲ 3	▲ 3	▲ 6	▲ 2 (▲12)	▲ 3
	東北	5	10	14	12	11	8 (▲ 1)	2
	岩手	25	29	40	38	35	28 (27)	21
全産業	全国	▲ 7	▲ 6	▲ 4	▲ 6	▲ 9	▲ 8 (▲15)	▲ 5
	東北	3	5	7	4	2	▲ 1 (▲ 8)	▲ 3
	岩手	14	19	25	16	17	11 (15)	6

(参考4) 東北各県の業況判断D. I. の推移

() 内は前回予測

		11/12月	12/3月	6月	9月	12月	13/3月	6月 (予測)
全産業	岩手	14	19	25	16	17	11 (15)	6
	青森	0	▲ 1	8	7	0	4 (▲ 4)	0
	宮城	20	18	16	8	11	3 (▲ 2)	▲ 5
	秋田	▲ 9	▲ 7	▲ 5	▲13	▲11	▲18 (▲17)	▲11
	山形	▲11	▲ 6	▲ 4	▲10	▲ 7	▲ 9 (▲22)	▲11
	福島	6	12	2	7	6	3 (▲ 6)	2

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>